学校番号	３１６

平成 31 年度　芸術科〔美術〕

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	美術３（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまで学習してきた美術の知識や感じ取ったことなどを組み合わせながら、思い描く世界をよりよく実現しようとする姿勢を持ちましょう。
・ものづくりの喜びや美しさを追求する楽しみはこれからの生活を彩ります。１年間を通して自分の進路や表現力を学びましょう。
・ファイル、プリント、作品の提出期限、提出場所については必ず守りましょう。

2　学習の到達目標

これまでに身に付けた美術の活動に関する基本的な能力を用いた作品づくりに活かす。作品発表を通して、表現力・伝達力を身につける。調べ学習などで一層深く自己を表現できるような課題を選択し、作品を完成させる自主的な態度及び、生涯にわたり美術を愛好する心情を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	必要教材の有無 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子 片付け、清掃の様子	制作途中の作品 ワークシート アイデアスケッチ	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	立体造形「マスコット・キャラクターデザイン」	・様々なマスコットキャラクターを鑑賞し、これからの活動の見通しを立てる。 ・商品を販売するための手段としてマスコットキャラクターをどう活かしていくか検討をする ・キャラクターのモチーフを決め、キャラクターの形を考え、簡単にスケッチする。 ・キャラクターの平面デザインをして、それをみながら成形をする。	○ ○ 	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:世の中で使われているキャラクターに関心を持ち、意欲的にマイキャラクターを作ることができる。 b:キャラクターの元になるモチーフのよさについてしっかり把握し、そのよさをキャラクターに反映することができる。 c:カービングによる基本的な塑像ができ、つけ足したり削ったりして細部までつくることができる。 d:キャラクターの役割を理解し、他の人の作品の表現意図に気づくことができる。	・必要教材の有　無（忘れ物チェック） ・ワークシート ・作品ができるまでの　過程、行動
	デザイン「商品パッケージ」	・様々なパッケージデザインの参考作品を鑑賞し、デザイン上の意図や効果、働きなどを読み取る。 ・資料やワークシートを基にしてテーマを決め、構想を練る。 ・構想を基にしてアイデアスケッチをする。 ・自分が選択した表現技法で、パッケージを制作する。	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:生活の中で接するパッケージデザインに関心を持ち、自らの生活を豊かにすると共に自分らしい表現をすることに主体的に取り組もうとする。 b:パッケージデザインの目的や機能を理解し、色彩や形などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練り深める。 c: 構想に沿って独創的な表現を工夫し、制作手順を総合的に考え、見通しを持ち計画的に表現する。 d: パッケージデザインの目的や機能と調和のとれた表現の工夫を感じ取り、見方を深め、自分の価値観を持ち、批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わう。	・作品 ・片付け、清掃の様子

2学期	木工芸「スツール」	・参考作品を鑑賞し、工芸や木のよさについて興味や関心をもつ。 ・木材の特性を考えた設計図つくり（方眼紙を使ったミニチュア制作） ・目的や用途、板材の特性を基に主題を発想し、形を構想する。 ・木材の特性を生かした造形を考え、制作する。 ・見通しをたて、計画的に制作する	○

3学期	デッサン「静物画」	・対象をよく観察し、色彩、明暗を意識して描く方法を理解する。 ・自分自身をみつめ、思いをこめて制作する。・デッサンにおける鉛筆描写、練消しゴムの使い方を理解する。鉛筆の芯の硬さやタッチの違いで、幅広い表現ができることを理解する。 ・構図のバランス、明暗、質感を意識して描く	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:デッサンを制作する意義を理解し，意欲的に制作することができる。表現の楽しさを味わい積極的に制作することができる b:対象をよく観察し，形体感・陰影と明暗の表現・ものの色と質感の表現などといった造形要素を理解し，自分なりに工夫して表現することができる。 c:鉛筆などの描画材料の使用法を理解して表現することができる。形体や明暗のとらえ方を理解して表現することができる。 d: 相互に作品を鑑賞し合い，そのよさや特徴を感じ取ることができる。	・必要教材の有無（忘れ物チェック） ・ワークシート ・作品ができるまでの過程、行動 ・作品 ・片付け、清掃の様子
	デザイン「自分マップ」	・自分のこれからの進路や夢に対して前向きに思い描き、関心をもつ。 ・自分がなりたい職業やしてみたいことなどを調べた上、その現場での自分の活躍など構想する。 ・構想を基にしてアイデアスケッチをする。 ・人生のテーマを背景にしながら自分の進路や夢を展開する。	○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 18歳を基準に20年後の自らの進路や夢に関心をもっている。 b:進路や夢から自分がどんな様子なのかを客観的に捉えることができ、その様を総合的に考え、表現の構想を練っている。 c: 進路や夢から自分がどんな様子なのかを客観的に捉えることができ、その様を総合的に考え、表現している。 d: 相互に作品を鑑賞し合い，そのよさや特徴を感じ取ることができる。	

※　表中の観点について　a: 美術への関心・意欲・態度　b: 発想や構想の能力
c: 創造的な技能　d: 鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。